



ワークショップ2010の狙いと課題認識

2010年10月29日

社団法人 電子情報技術産業協会
ソフトウェア事業基盤専門委員会

パナソニック株式会社
春名 修介



日本の組込みソフトウェア開発の現状

■ 弱まる国際競争力, 弱まる市場シェア

- 組込みソフトウェアは日本の強みの源泉であり価値創出のキー
- 組込み対象となるハードウェア機器は強いとしても

ソフトウェア開発力が国際的に見ても本当に強いのだろうか?

■ 組込みソフトウェア開発を取り巻く状況: 4つの大きな波

- 大規模化
- 短納期化
- 複雑化
- 複数機種並行開発



このような大きな波に対応できているのだろうか

組込み系ソフトウェア開発の目指す姿は

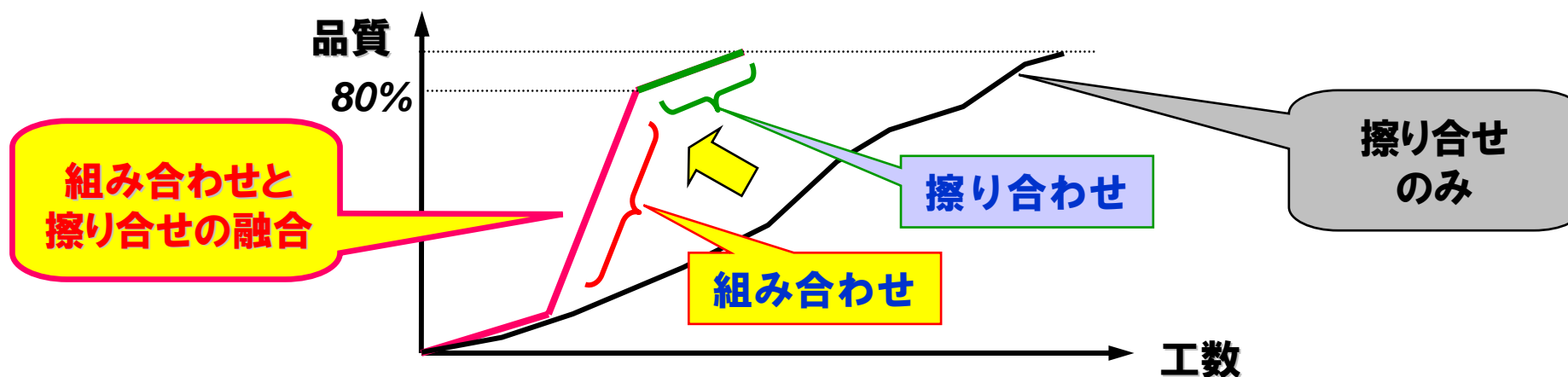


- **擦り合わせによる高品質開発**が日本の競争力の源泉
- しかし、全体が見えない時点からの「**アドホックな擦り合わせ**」では、**大規模化・短納期化**などに対応できない



《 組み合わせと擦り合わせの融合 》

- ・ 8割までは、**組み合わせ**(設計・アーキテクチャ)の補完により、すぐに
- ・ 残りの2割を、**擦り合わせ**で → 組込み特有の非機能要件対応など



課題認識



- ボトムアップ擦り合わせ開発は、大規模化・短納期化・多機種化の中で、真に強みになるのだろうか？
- 擦り合わせ開発と言うけれど、設計完成度が低いだけではないか？
 - 擦り合わせ開発の負の側面が目立ったはいないか
- 擦り合わせ開発の強みとは何かを認識して開発している？

**組込み開発における日本の強みと弱み
～強みと弱みを認識することから始める～**

本日のプログラム



■ 基調講演:

- 株式会社 プロセスネットワーク 代表取締役社長 金子 龍三 氏
『商品開発方法の革新策 - 前向き擦り合わせ開発と組合せ開発 -』

■ 事例発表:

- デジタルカメラ開発におけるソフトウェア設計改善の事例紹介
 - » 株式会社リコー 牧 隆史氏
- 富士通の組込みソフト開発技術者から見た、擦り合わせ開発の強み
 - » 富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社 撰 暁久氏
- 発電監視制御システムにおけるプロダクトライン構築事例
 - » 株式会社 東芝 小田川 直人氏

■ 全員参加102人ワークショップ 『強みと弱みの認識』

- 司会進行:ピースラッシュ株式会社 代表取締役 山田 大介 氏
- アドバイザ:金子 龍三 氏
牧 隆史 氏, 撰 暁久 氏, 小田川 直人 氏,
NPO法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会 理事
渡辺 登 氏

積極的な議論をお願いいたします